

第 50 回真庭市公共交通会議分科会議事録

日時：R4.8.29（月）10：30～12：00

場所：真庭市役所本庁舎 2 階大会議室（2）

出席：

【分科会長】 三船氏

【委 員】 中山氏、若本氏、眞柴氏、國米氏、實村氏

【専 門 員】 松嶋氏、原氏、杉山氏

【事 務 局】 今石生活環境部長、矢田部くらし安全課長、三船主幹、眞崎主事、柿本主事

発言者	議事
	開会
矢田部課長	定刻になったので、分科会を開催する。久しぶりの対面開催で、委員も更新している。まずはそれぞれ、挨拶をお願いします。
三船会長	民生委員で枝線のアンケートも行っている。時間や停留所等の意見を反映していただいているが、高齢者の足を守る面で公共交通は重要。
中山委員	2 年目となる。勉強も兼ねて頑張りたい。
若本委員	中山間地域で市民の足をどのようにして守っていくか重要。
眞柴委員	コロナ禍で観光も低迷していたが、今年度から徐々にイベントも再開している、まにわくんも観光客の利用が進められるように考えたい。
國米委員	高齢者の生活に地域の足として、公共交通は大切。
杉山専門員	様々な会議で足の確保は話題に上がる。重要なことのため、いろいろ考えたい。
原専門員	4 月から担当になった。いろいろな意見を聞きながら勉強したい。
松嶋専門員	4 月から担当になった。地域の事情も踏まえて、利便性の向上を図る中で、出席させていただいた。尽力する。
實村委員	初めて参加する。高齢者にとって地域交通は大切。知識を得ながらがんばりたい。
今石部長	持続可能な公共交通目指して進めたい。
矢田部課長	コロナにより、交通も大きな影響を受けた。
眞崎主事	主担当で、会議全般に携わっている。 本会議は、重要な決定をする場。分科会は調査や研究をする場。積極的にご意見をいただきたい。
三船会長	分科会は結論を出す場ではない。話し合いの中で、意見を出し、また聞き、深める場にした い。

協議事項 1「真庭市コミュニティバス運行車両更新整備計画（令和4年度変更案）について」

真崎主事

R4年度に計画が満了するため、新たに5年計画を策定する。計画期間はR5～R9。最終的には本会議で提案するが、本日は意見出し。

主な変更点は、計画を5年間にしたこと、EVバスを新たに記載していること。EV車両は官民間問わず、導入が増加しており、真庭市でも「ゼロカーボンシティまにわ」を宣言しており、公用車のEV化も積極的に進めている。安全性能、価格、財源等を精査し、EVバスは慎重に検討していく。不確定要素が多い事項については断定的な記載ができないため、毎年度適宜修正していく。更新計画は5年だが、社会情勢等の変化を考慮し、毎年検討する。

更新基準については、「別添1」の3ページの赤点線で囲まれているところ。1つ目の基準は、更新を登録からの年数もしくは距離数で定めている。4ページの青点線で囲まれているところ。2つ目の基準はバリアフリーや安全性能の面から更新する可能性もある。

これは本会議で承認を得た上で確定する。

三船会長

質問、ご意見はあるか。

若本委員

国の方針としてもEV化は重要だが、充電が必要になる。市内では、充電設備が整っていないが、運行中に充電がなくなったとはなってはいけない。キロ数も注意だが、山道は通常より充電を消耗する。そこを調べた上で提案して欲しい。

車両更新では、80万kmまでや、バリアフリーなど更新基準については理解する。ただ、どの自治体も財政が逼迫している中で、80万km走っても余力のある車は更新をのばすことも検討して欲しい。

真崎主事

車両の導入と充電設備の整備は、当然一体として考えないといけないと考えている。

また、EVバスは現在は1回の充電で、1日の運行ができるエリア、運行の途中で充電が必要でないエリアで検討している。計画の中には明文化ができていないため、これから検討を進める。

更新基準については、距離数や年数はあくまで目安。現在もハイエースで40万km以上走っていても現役の車もあるし、逆に30万kmくらいで、修理の多い車もある。

三船会長

車両更新について、柔軟に対応していると思う。更新基準については、短くなるのではないかとということが表に出ているため、「柔軟に対応する。」などの文言があっても良いのでは、と思う。

真崎主事

4ページを見ると、断定的に受け取られかねない書き方になっているので、修正する。

實村委員

11台変更ということだが、更新するときにEV車かガソリン車にするのか、具体的な案はあるか。1日でも早く、EV車を導入できるよう対応を求めたい。

真崎主事

市長からも似たオーダーが出ている。ただ、現状、価格や安全性能を調査している段階。

また、適当なサイズ感の車両が市場に出していない物もあり、断定的な記載や具体的なスケジュールを出すのが難しく、あえて不明瞭な記載にしている。ただ、どこかそういった記載の仕方ができないか、検討する。

三船会長

軽EVは水島製作所で三菱と日産が作っており、ある程度できていると聞く。市も導入予定があると聞く。しかし、バスはまだそこまで形はできていない。

調査や検討していくという内容の記載があれば良いかと思う。

<p>松嶋専門員 三船会長 松嶋専門員 今石部長</p> <p>三船会長 眞柴委員</p>	<p>専門員に聞くが、他の市町村は EV は導入しているか。 表立ってはまだないが、これから導入するなら、EV 車が良いだろうという話は聞く。 計画として、真庭市は早いか。 早い。そもそも、更新計画自体、他の市町村では聞かない。 真庭市の公用車で、軽を EV に更新する予定がある。 確かに充電設備は少ないが、真庭市は脱炭素先行地域の予算の関係で、今後、安価で導入しやすい普通充電設備の導入を検討している。旧町村単位で市の要点となる場所に導入していきたいと思う。 市民も観光客も利用しやすいように協議している。 導入すると、観光面でも PR できる。 観光局宛に「充電できる場所がないか？」という問い合わせもある。ありがたい。</p>
<p>眞崎主事</p>	<p>協議事項 2「まにわくん枝線の見直しと『チョイソコ』の活用について」</p> <p>まにわくんは年に 1 億 2,000 万円に迫る公費負担を投じており、また、ニーズも「ドアツードア」を求められる。多くの路線で現在のまにわくんでは限界があるため、落合、久世、勝山の 3 地区の枝線を新しい仕組み、チョイソコに転換する。 チョイソコは、トヨタグループの株式会社アイシンが開発した、AI を活用する配車システム。2019 年に登場し、乗り合い送迎の形をとって、効率よく配車の手配が可能。輸送コストを減らし、利用者の利便性も向上したい。特徴は、エリアサポーター制度により、運行費用の補填ができること。 4 ページでは枝線の枝線の状況と経費を記載している。ピンク色に塗っている箇所がチョイソコに転換するルート。このルートの経費は約 1550 万円かかっており、転換することで、サービス水準の向上や効率化が実現できると考える。委託料を削減できる可能性もある。 5 ページではサービス水準を数値化した表を載せている。左の青色のルートは、便数、運行頻度が足りていない。便数を増やしても良いルート。右側のオレンジ色のルートでは過剰に運行している。利用者数に対して、便数が多い、走りすぎているルート。 南部エリアに過剰路線が多くなっており、このエリアをチョイソコに転換する。 6 ページでは、多彩な事業者と協力、検討していることを記載。勝山・落合のタクシー事業者（フクモトタクシー、エンゼルサービス、落合タクシー）とチームを組み、検討している。チョイソコは真庭市においても効率の良い運行を構築、運転者不足を解消し、利用者の増加、利益確保ができると考える。また、エリアスポンサーとして、地域で支える形は市の交通計画にも即した形で、この仕組みで考えている。 7 ページではイメージとスケジュールを記載。運行主体はダイハツで検討。利用者には会員登録をしてもらう。地域の企業には、エリアスポンサーとして協賛をいただく（協賛は任意）。真庭市は運行費用の不足分に補助金を出す。市が主体から、民間主体に変更する。 本年度、制度の詳細の検討を行い、財源確保や議員、市民への周知等を随時行う。実証運行も計画しており、R6 年 4 月には運行を開始できるようにしたい。</p>

三船会長 中山委員 真崎主事	<p>質問、ご意見はあるか。</p> <p>1 回何円か。定額か。デマンドのイメージになるのか。</p> <p>運賃は未定。民間主導の事業のため、まにわくんと同じにする必要はない。</p> <p>まにわくんより利便性は高いため、200 円よりは高くしても良いのではという意見もある。</p> <p>不便だけど、安いからまにわくんに乗るとい声もあるだろう。まにわくんと比べて、値上がりする場合は、市民に説明をきちんと行う。</p> <p>デマンド運行だが、タクシーではないから、あくまで停留所から停留所までの運行になる。</p>
中山委員 真崎主事	<p>既存の停留所のみ利用するのか。</p> <p>増やしていく。既存の停留所も併用する。</p>
三船会長 真崎主事	<p>チョイソコは全国展開していると思うが、実績もかなり進んでいるのか。</p> <p>全国で 30 カ所くらい実績がある。</p>
矢田部課長	<p>それ以外の箇所でも検討している場所がある。</p>
三船会長 真崎主事	<p>先進地の事例を把握することは必要。</p> <p>アイシンでノウハウの蓄積がある。協力しながら前進する。</p>
實村委員	<p>画期的な新しい発想。事業者、エリアスポンサー、行政、利用者が協力し合って進めていかないといけない。スケジュールがはっきりしている中で、いろいろな意見もあるだろうが、進めてほしい。期間が短いから、スケジュール通りできるのだろうかという心配はある。</p>
三船会長	<p>複数の場所の人が同じところに行きたいとなった時、AI が乗り合いにするか、2 便目を運行するか決めるのだろう。そういった能力というか、できたらすごいことだと思う。</p>
若本委員	<p>AI の活用は成功も失敗もある。検討チームに地域住民の代表を入れた方がいろいろな意見を聞けるのではないか。</p>
矢田部課長	<p>利用するのは市民だから、どんな意見が出るのかは危惧しているところ。実証運行の時間もとっており、実際に利用してもらおう中で問題点、課題点を改善する。現在は事業者と検討しているが、実証をしながら、市民の意見を取り入れたい。</p>
眞柴委員	<p>地域住民のみ利用できるのか。</p>
矢田部課長	<p>地域住民以外も利用できるという認識。まにわくんでも、市外の方の利用はできるし、限定するのはどうかと思う。</p>
三船会長	<p>県内でチョイソコの導入事例はあるか。</p>
松嶋委員	<p>ない。</p>
矢田部課長	<p>中国地方で導入事例はない。検討しているところはある。</p>
國米委員	<p>期待できる仕組み。うまくまわれれば良いが、まにわくんより高くなるかもしれないが、公共交通の観点から、誰でも乗れるように費用面も考慮して欲しい。</p>
真崎主事	<p>協議事項 3「コミュニティバスまにわくん『運賃無料 day』(仮称)の実施について」</p> <p>運賃の無料化を検討している。運賃の改定は本会議での承認が必要なため、今日は事前協議で、本会議は 9 月に書面で行う予定。</p> <p>8 ページに記載している 6 日間のみ無料とし、内、9 月 25 日は蒜山で海山マルシェが開催さ</p>

<p>松嶋専門員 矢田部課長 松嶋専門員</p>	<p>れる予定で、集客増加も見込んでいる。日曜、祝日のため、幹線の3ルートのみ無料とする。効果として、利用者の増加、意識の醸成、消費の活性化などを見込んでいる。岡山市の運賃無料 day を参考にしており、同じ日に無料としている。</p> <p>岡山からの集客も意識している。</p> <p>真庭市は初めてか。</p> <p>初めて。</p> <p>無料化は国庫補助の対象にはならないから、無料の運行にかかる費用は経常費用に含めないように注意してほしい。</p>
<p>真崎主事 若本委員 矢田部課長</p>	<p>承知した。</p> <p>費用は真庭市負担か。中鉄北部の精算はどうなるか。</p> <p>まにわくんについては真庭市の負担になるから問題ない。中鉄北部については、岡山市が負担している。</p>
<p>中山委員</p>	<p>先日の無料 day では岡山行きで多い便で約 40 人の利用、勝山行きで 47 人程度の利用があった。</p> <p>勝山で降りて、蒜山や湯原方面に行かれる方も多い。泊まりで行かれる方も多いように思えた。まにわくんの利用も見込めると思う。</p>
<p>真崎主事 中山委員 矢田部課長</p>	<p>岡山から蒜山までの移動は時間が長くなってしまふ。観光プランを考えたときに、日帰りでは難しいかと思っていたが、岡山から泊まりで蒜山方面に行かれる方もいるのか。</p> <p>そう。</p> <p>日帰りだと 4 時間程度しか蒜山に滞在は難しい。</p>
<p>三船会長</p>	<p>力を合わせてやってほしい。</p>
<p>協議事項 4「やませみ号(鏡野町)の運行内容の変更について」</p>	
<p>真崎主事</p>	<p>やませみ号の変更について、真庭市の公共交通会議での承認の依頼を受けている。やませみ号は富から勝山まで運行しており、定時定路線の乗り合いタクシー。ピーク時は約 3,000 人の利用があり、以前は学生の通学がメインであったが、今は年間の利用者数が 39 人。利便性の向上が必要。運賃は検討中だが、300 円を想定。本会議の書面開催で、審議する。</p>
<p>三船会長 若本委員 真崎主事</p>	<p>どうか。</p> <p>朝に勝山行きの便、昼と夕方に富行きの便になるということか。</p> <p>そう聞いている。</p> <p>松嶋氏に聞きたい。この案件については、厳密にいうと、公共交通会議での審議は必須ではないが、今後のために審議をしておいた方が良いと聞いている。そういう認識で良いか。</p>
<p>松嶋専門員 真崎主事 松嶋専門員</p>	<p>真庭市民の利用はあるか。</p> <p>ごくまれにあると聞いている。</p> <p>真庭市民の利用があるならば、承認の必要があると思われる。</p>

	<p>その他・閉会</p> <p>三船会長 真崎主事 矢田部課長</p> <p>その他、事務局から何かあるか。 本会議を9月に書面で開催する。運賃無料 day、やませみ号を審議する。 4月からJRのローカル線の議論が進んでいる。真庭市も利用促進のために動く。 公共交通会議でJRを議論していない自治体も多いが、今後、本会議でも利用促進のため、議論、ご意見いただきたいと思う。よろしくお願いします。</p> <p>今石部長</p> <p>部長から閉会あいさつを。 真庭市も人口減少の中でJRを使っていけないといけない、バス、タクシーもという、厳しい状況。国も地域の交通担当で対応するようにと、予算をつけてもらっているという報道もあった。</p> <p>矢田部課長</p> <p>今後は幅広く情報を得ながら、やっていきたい。いろんな面で協力いただきたい。 閉会する。</p>
--	--